

学校だより
平成25年
10月
11月合併号

はるにれ

海老名市立
有馬小学校

思い出いっぱいの 修学旅行

10月10日(水)~11日(木)にかけて、6年生65名全員で日光へ修学旅行に行ってきました。今年の日光方面は、例年になく暖かさを、日中は汗ばむくらいの陽気でした。

1日目、丸沼高原での昼食、午後はいよいよ湯本の源泉をかわきりに、いろいろな滝巡りや光徳牧場へのハイキング、そして一夜を過ごす霧降高原プラザホテルへ。フォーク・ナイフでの夕食、クラスのみなどと温泉につかった後は、ふくべ細工に挑戦しました。楽しい友達との夜もあっという間に明け、早2日目。世界遺産の東照宮には今年も一番乗り！陽明門は、残念ながら改修中でしたが、徳川幕府の偉大さにはやはり目を奪われました。いよいよ最後のお楽しみ、日光江戸村へ。グループごとに、イベント巡りや食事、お土産購入と笑顔いっぱい楽しく、節度をもって活動することができました。実行委員は、準備から本番まで大変だったと思いますが、おかげでみんなもきまりを守ったり協力したりして、楽しい2日間にする事ができたと思います。みんなが有形無形のたくさんのお話を学びました。思い出としてだけでなく、今後の生活の中で生かしてくれることを期待しています。



ありがとうございました 10月のゲストティーチャー等

様々な専門の先生や地域の方々(施設)に教えていただき、とても楽しく学べました。

6年 連合運動会練習指導 有馬中 土屋教頭先生 国友先生

有馬中3年生 合唱祭りハーサル見学

5年 出前福祉教室(座間キャラバン隊) ミシン学習支援

4年 歯科指導(杉崎先生)プラネリウム教室 福祉教室(点字他)

3年 歯科指導(田辺先生)バイオリン出前授業(霜島先生)

フードワン社会科見学

**1年・2年 福祉教室(手話) 海老名市社会福祉協議会
富士ゼロックスへどんぐり拾い(秋見つけ)**

**その他 本郷自治会防犯パトロール 図書ボランティア
小中連携あいさつ運動 PTAの皆様**

平成25年度 文部科学省 全国学力・学習状況調査結果について(本校児童の状況)

上記調査は、小学校については、全国すべての小学校6年生を対象に4月に一斉実施しました。個別結果は、すでに6年生各ご家庭にお渡ししてありますが、全体的傾向等について、この場でお知らせしたいと思います。

全学年を対象に実施したものではありませんので、厳密に言えば、「本校全児童の状況」とは言い切れない部分でありますので、「傾向」としてご理解いただけたらと思います。

尚、本調査の結果はもちろんのこと、その他の実態調査やアンケート～日々の児童や授業等の評価等々、継続的かつ様々な視点から捉えたものをふまえて、指導改善や修正に努めていきたいと思っています。

各ご家庭はもちろんのこと、地域の皆様におかれましても、『ありまっ子の【知・徳・体】バランスの良い成長』をめざして、一層のご理解とご支援をいただきますことをこの場をお借りしまして、あらためてお願いいたします。

国語 全体的傾向

全国平均に比べ、時間が足りないことを起因として、最後の方の問題まで到達することができない。文章の読み取りの力(速さ、正確さ)を高める必要がある。長い目で見たら、生活の中で、文章にふれること(例えば読書)が生活化することを期待します。

【国語 A 主として知識に関する問題】

《特に優れている点》

○ことわざの意味の理解 ○漢字の読み

《特に努力を要する点》

●資料の読み取り

【国語 B 主として活用に関する問題】

《特に優れている点》

○日頃の話し合いを生かし、話を聞くこと、相手の意図を想像すること。

○自分の考えを持つとすること

《特に努力を要する点》

●二つの文を比較しながら読むこと。

算数 全体的傾向

全国平均に比べ、正答率がやや低いが、無回答率が低く、問題に最後までがんばって取り組もうとする意欲がみてとれる。

また、図や絵など視覚的なものから答えを導き出す力が十分にある。しかし、情報を整理して、筋道を立てて判断する力や自分の考えたことについて表現する力を高める必要がある。

【算数 A 主として知識に関する問題】

【算数 B 主として活用に関する問題】

共通する具体的な状況

《特に優れている点》

○基本的な四則計算(+・-・×・÷)の力。

《特に努力を要する点》

●「単位量あたりの大きさの考え方」を用いて問題を解くこと。

●「割合の大きさの考え方」を用いて問題を解くこと。

生活状況

○「家庭生活」(食事、睡眠時間、テレビ ビデオ視聴時間、ゲーム時間、携帯 スマホ保有)全般についておおむね全国平均と比べて良好であるが、一部の児童に、課題がみられる。(12時過ぎに寝たり睡眠6時間より少なかったりする。4時間以上ゲームをしている。携帯等についての約束事がない。)

○「優しさ、思いやり、モラル」のある児童が多い。

○「学校に行くのが楽しい」と思っている割合が全国平均を上回っている。良好な友達関係や個々の人格を認められていることによる「自信」に起因することが多いようである。一方で、思いを伝えきれないジレンマを抱えている児童がいることは、気になるところである。

○「家庭学習」60分に向けてはがんばっているが、全国平均に比べて時間的に少ない。特に、休日の学習時間が少ないのが目立つ。また、宿題はやっているが、「自主学習」を苦手としている。

○「自己肯定感や将来に向けての夢や希望」を持っている割合は高い。